

# 学習指導要領に示された本単元に関わる目標及び内容等

## 1 第3学年の目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

## 2 内容

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 生産の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

(イ) 販売の仕事は，消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう，工夫して行われていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現すること。

(イ) 消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどに着目して，販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え，それらの仕事に見られる工夫を考え，表現すること。

### 第3学年西組 社会科学習指導案

学習指導者 滝井 康隆

#### 1 単元「地域に根差し、受け継がれる鎌田醤油工場の業」について

##### 【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

鎌田醤油工場と地域の人々の生活との関わりを明らかにするために、社会的事象の見方・考え方を働かせ、醤油造りの工程等を調べ、醤油生産に携わる人々の仕事の様子を捉える。その中で、工場と地域の人々の生活との関わりについて考えたことを友達と交流しながら理解を深めていく。そして、ほかの多岐にわたる活動についても考えている。

本単元では、醤油造りが古くから坂出で続けられており、現在も地域の人々に愛されるおいしい醤油を造るなど地域住民の生活と密接に関わっていることを明らかにするために、江戸時代から続き、全国で初めてだし醤油の生産を始め、今も消費者に求められる味を追求している鎌田醤油工場を取り上げる。まず、空間的視野を広げ、坂出市の工場の分布について調べると、ほかの工場に比べ醤油工場は多いことが分かる。その中でも鎌田醤油工場の醤油がおいしいという理由で自分たちの多くの家庭でも使われており、全国的にも有名であることに気付いた子供たちは、いかにして質の高い醤油が造られているのか興味をもつだろう。そこで、醤油造りの工程などに着目し、温度と時間を微妙に変えて味を調整したり、衛生面に気を付けたりして生産されていることを理解する。また港工場では、生産する人と発送する人などが互いに協力することでおいしい醤油が消費者の手元に届けられていることを捉える。港工場での生産の様子について明らかにした子供たちは、本社工場の様子を時間や空間を広げながら考え、「商店街が近いし周りに住んでいる人たちが買い物に来ているね」「でも今も町中で続ける必要はないと思うよ」「昔は本社工場の近くで原料が手に入ったのだね」などと考えを交流しながら、「昔からおいしい醤油を造っていて愛され続けているのだね」などと、昔から地域の人々の生活と関わりがあったことを理解していく。さらに、醤油以外の商品開発や美術館の運営で、地域の生活をよりよくしていることについても考えていく。

#### 2 単元計画（総時数 8時間）

身近な醤油を生産している鎌田醤油工場を取り扱い、子供の興味関心に沿って学習を進めていく。また、醤油造りの工程や仕事の様子を調べた後、時間的視野を広げることで、古くから続く産業であることに気付かせ、地域住民に必要とされる商品を作り続け、長く愛され続けていることを捉えられるようにする。

次	学習の流れ及び主な子供の意識
一	<p>① 坂出市にはどのような工場があるのだろう</p> <p>坂出市内の工場の分布を調べ、坂出市には様々な工場があることに気付く。鎌田醤油が全国的に有名であることから、おいしい醤油を造り出す工夫に対する追究意欲を高め、学習計画を立てる。</p>
二	<p>②③ 鎌田醤油工場では、どのようにして醤油を造っているのだろう</p> <p>工場を見学し、原料や工程などをまとめ、消費者に必要とされる醤油を造っていることを捉える。</p> <p>④ 醤油造りをしている人は、どんなことに気を付けているのだろう</p> <p>醤油生産に携わる人々が、衛生面に気を付けて繊細な作業をしていることを捉える。</p> <p>⑤ できた醤油はどうなるのだろう</p> <p>衛生面に気を付けて造られた醤油は、工場働く様々な人が協力し、丁寧に梱包された商品が地元のお店で売られたり、通信販売で全国や海外へ発送されたりして、消費者の手元まで届けられていることを捉える。</p> <p>⑥ 港工場と本社工場はそれぞれ何をしているのだろう</p> <p>紙パックの醤油を生産し、全国への通信販売を中心に行っている港工場と、ボトルやパックなどの多様な醤油を生産したり開発をしたりしている本社工場の役割が違うことを理解する。</p> <p>⑦ 本社工場は、なぜ町中にあるのだろう <span style="float: right;">(本時 7/8)</span></p> <p>運搬に不便な町中の本社工場で生産を続けている理由を、過去と現在の視点から考える。</p> <p>⑧ 醤油以外の製品を開発したり、ミュージアムを造ったりしたのはなぜだろう</p> <p>市民の生活をより豊かにするために、醤油以外の製品や、美術館等を運営していることを理解する。</p>

3 本時について

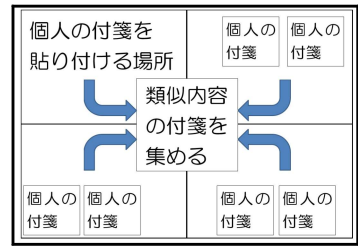
目 標	鎌田醤油工場が港の近くだけでなく町中にある理由について話し合う活動を通して、醤油生産が坂出で昔から続けられてきた産業であり、今も市民が求める商品を作り続けているという工場と地域の関わりを考え表現することができる。
--------	--

	学習活動	主な子供の意識
課題設定以前	1 学習課題を確認する。 【クリップボード】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">港工場は全国から注文を受け、たくさんの醤油を届けているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">本社工場では、醤油以外にもいろいろな商品を作っていたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">港工場の周りは道路が太くて、原料や商品をトラックで運びやすいよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本社工場の周りは、道が狭いからトラックは通りにくいね。</div>
	<b>本社工場は、なぜ町中にあるのだろう</b>	
課題解決中	2 本社工場が町中にある理由を予想する。 【話し合いボード】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">商店街が近いし、直接買いに来てくれる人のためにできたての醤油を用意しておくためではないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">昔から本社工場の場所で醤油造りを続けているのではないかな。原料が近くにあったはずだよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">本社工場はたくさんの種類の商品を作っていたね。港工場だけではこんなに種類は造れないのではないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">本社工場の周りには昔から建物も多いよ。原料だけでなく、働く人も近くから集めることができたのだと思うよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">本社工場は開発専用の工場として必要なのではないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">昔だったら道は狭くてもいいけど、今はやっぱり道が広いほうが便利だよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">やっぱり港工場のように車で行きやすい場所にあるほうが便利だな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">今の場所にある理由は、今のことよりも昔のことが関係ありそうだ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">年表や昔の地図を見てみると理由が分かりそうだよ。</div>
	3 本社工場が町中にある理由を年表や地図を基に考え、話し合う。 【話し合いボード】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">年表を見てみると、本社工場よりも後に、港工場ができていますよ。もともと本社工場で醤油を造っていたから、続けているのではないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">昔の地図を見てみると、本社工場の近くに大きな塩田があるよ。この塩を使って醤油造りをしていたのだね。だから、今の場所にあるのだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">230年も醤油を造り続けているよ。だし醤油は50年以上造り続けているよ。みんなに愛される味なのだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">昔も今と同じように、本社工場の近くにはたくさんの人がいたみたいだね。みんなが買っていたのだろうな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">昔は本社工場の周りにたくさんの原料があったし、人も多かったから働きに来たり買いに来たりしやすかったよ。今も新しい商品をお客さんのために出し続けているし、町中で醤油を造り続ける意味があったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">これからもおいしい醤油を造り続けてほしいよ。</div>
課題解決後	4 本時の学習を振り返る。 【振り返りカード】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">友達の意見を聞いて考えが変わったよ。友達が、昔の様子に気付いていたから自分も気付けたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分の考えは変わらなかったよ。昔の地図を見て本社工場の周りに建物が多かったことに気付いたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">他にも地域の人に愛されるようなことをしているのかな。</div>

評 価	本社工場が町中にある理由について、工場と地域の人々の生活との関連を考えたことを友達と交流し、醤油生産が坂出で昔から続けられてきたこと、今も市民が求める商品を作り続けていることを捉えている。 <span style="float: right;">【方法：発言・様相・記述】</span>
--------	--

#### 4 子供の実態とメタ認知を促す働きかけの詳細

子供の実態	働きかけの詳細
<p>～課題設定以前～</p> <p>メタ認知に関わる実態調査によると、35名中13名の子供たちが、授業のはじめに、自分が分かっていることを振り返っていないと感じていることが分かった。</p>	<p><b>学習活動1</b> 【クリップボード】(2～8時間)</p> <p>まず、港工場で多くの醤油が生産されており、そこから直接全国へ発送されている事実を確認する。また本社工場では、通信販売以外の商品を生産したり、新しい商品を開発したりしていることを確認する。その際、単元を通して学習してきたことを、補助黒板にまとめた<b>クリップボード</b>を指し示す。その後、両工場の周りの様子に着目させる。子供たちは見学時を想起し、本社工場の周りの道は細く、港工場に比べると輸送には不向きであることに気付くだろう。そこで、既習事項とのずれを説明させ、港工場のほうが輸送に向いているはずなのに輸送に不向きな町中にある本社工場でも生産を続けていることを確認し、「本社工場は、なぜ町中にあるのだろう」を課題として設定する。</p>
<p>～課題解決中～</p> <p>メタ認知に関わる実態調査によると、35名中14名の子供たちが、授業中ノートや黒板を見て既習事項を確かめていないと感じていることが分かった。また、教科に関わる実態調査によると、班で自分の意見を言っていないと感じている子供が14名いること分かった。</p>	<p><b>学習活動2・3</b> 【話し合いボード】(2～8時間)</p> <p>子供たちが本社工場が町中にある理由を考える際には、班全員の考えを見えやすくするためにホワイトボードに、自分の考えを書いた付箋(各個人で違う色を使用する)を貼り付けていく。机間指導で資料を基にした考えをほかの班の子供たちに広め、既習事項を振り返って考える意識をもたせたい。その後、出された付箋の内容を比べ、類似内容の付箋をボード中央に集めて重ねる。そうすることで、互いの考えの共通点や相違点に着目しながら、課題に対する考えをもつことができるだろう。話し合いを通して、本社工場が町中にある理由を、周りの様子から考えたり、昔に遡って考えたりしていくだろう。予想を全体で交流する際には、多くの人が買いに来てくれるなど、現在の町の様子や本社工場の役割から考えた予想から取り上げる。次に、昔は原料が手に入りやすかったなどの考えを取り上げていくことで、町中にある理由を昔の地図や年表に目を向けて考えられるようにする。</p> <p>その後、子供たちは、車のない生活では原料も販売先も近くにあるほうがよいことや、買いに来るお客さんも歩いてきたり電車に乗ってきたりしたであろうことに気づき、<b>話し合いボード</b>に付箋を加えていく。全体交流では「本社工場の近くで原料が取れ、それを人が運んでいたよ」「買いに来てくれる人も歩きだから、家から近いほうがいいね」などと、当時の立地のよさを捉えていく。工場の人の立場として二つの工場があることのよさを確認した後、本社工場に対する地域住民の思いを問い、今までもこれからもよりよい商品を造り続けてほしいという思いがあることに気付かせ、地域住民の生活との関わりを捉えさせる。</p>
<p>～課題解決後～</p> <p>メタ認知に関わる実態調査によると、15名は、自分の考えが変化しなかったか考えていないと感じていることが分かった。</p>	<p><b>学習活動4</b> 【振り返りカード】(1～8時間)</p> <p>振り返りでは、自分の考えの変化と、その考えがどのようにしてできたのかについて考えさせる。また、不思議に思うことや参考になった意見や資料については記述して詳しく振り返ることができるようにしておく。本時の学習後や、単元を通して書いてきた疑問で未解決のものを表出させ、次時への問題意識につなげる。</p>



【話し合いボード】

振り返りカード		お名氏( )
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 今日の勉強のふりかえりをしよう。自分の考えは変わったかな、変わらなかったかな。</li> <li>★ よくわかったのは、なぜかを考えよう。</li> <li>★ 友達の見解のよかったかな、資料のどこを見たかな、くわしく書いてみよう。</li> </ul>		
日付	自分の考えは	友達の意見や資料について詳しく書いてみよう ふしぎに思ったことを書いてみよう
／	変わった 変わらない	
／	変わった	

【振り返りカード】